

# 週間感染症情報

2022年46-49週 2022年11月14日より2022年12月11日まで

46週 47週 48週 49週

麻疹				
風疹				
水痘(みずぼうそう)		1		1
ムンプス(おたふくかぜ)				
百日咳				
溶連菌感染症				
手足口病	11	3	9	6
ヘルパンギーナ			1	
伝染性紅斑				
感染性胃腸炎	31	23	37	24
ロタウイルス(再掲)				4
便アデノウイルス(再掲)				
突発性発疹	1	4	2	3
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	3	1	
ヘルペス性口内炎				
アデノウイルス感染症	2		2	0
RSウイルス感染症	4		1	1
マイコプラズマ感染症				
ヒトタヌキウイルス			1	
インフルエンザ				
インフルエンザ A				3
インフルエンザ B				
新型コロナウイルス感染症	111	142	101	198

遅くなりましたが46週から49週4週間の報告です。新型コロナウイルス感染症の報告は下がりきらずに、47週から増加しました。若い人の陽性者が増えています。未接種や2回接種までの方は高熱で発症する方が多いです。元気な高齢者は、4回5回接種が進み、咽頭痛と軽い感冒症状ですんでいます。虚弱な高齢者は発熱などで脱水となり、早期に対応しないと合併症起こして重症化する例が多いそうです。ワクチンと治療薬のおかげで、インフルエンザに近づいています。感染力が強く、子どもがかり患すると家族内感染を起こして一家全員感染となる例が多いです。小児は、以前は感冒症状が先行するとコロナの感染確率は低かったのですが、流行の拡大で感冒症状の小児でもコロナ陽性例をみかけます。追加接種を受けている方は、軽症で熱がないのかぜと自己判断して済ませている方もおられるのではと感じています。感染すると重症化する方も出てきますので、体調不良の場合は無理をせず休んでください。

当院も、普通の診療をしながら発熱外来をして、ワクチン接種もしています。感染対策をしっかりしているつもりでも、職員に感染者や濃厚接触者が出てくると、いつも通りの診療はできません。大きな流行の山が来ると対応できない状態です。流行の山を高くしないために、いつも通りの感染対策とワクチン接種をお願いします。

49週にインフルエンザAの報告が3例ありました。その後報告がないので流行にはなっていないようです。インフルエンザはマスクの着用・手洗い・換気など、今まで通りの感染対策で防ぐことができることが、この2年間で証明されています。

ノロウイルスと思われる嘔吐を主とする胃腸炎が増えています。

何より大切なことは、ワクチン接種と

**「体調不良の場合は休む」**です。無理して、登校・出勤して周囲に感染を広げて、結局大きな迷惑をかけていることが多く注意が必要です。

(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com> )

